

ふれあいネットワーク



第219号

令和6年1月1日発行

社協だより

1月

迎春



謹んで
新年のお慶びを
申し上げます



社会福祉法人佐用町社会福祉協議会

○南光地域福祉センター (〒679-5213 佐用町東徳久1946番地)

TEL (0790) 78-1212(代表) FAX (0790) 78-1700

地域福祉課 TEL : (0790) 78-0830

介護支援課 TEL : (0790) 78-1717

HP <http://www.sayo-wel.or.jp/>

○きらめきケアセンター佐用

TEL : (0790) 83-2946 FAX : (0790) 83-2920

○きらめきケアセンター上月

TEL : (0790) 88-0001 FAX : (0790) 88-0814

○きらめきケアセンター三日月

TEL : (0790) 79-2994 FAX : (0790) 79-2900

○佐用朝霧園

TEL : (0790) 78-8050 FAX : (0790) 78-8051

新年のごあいさつ

佐用町社会福祉協議会会長 眞岡 克憲



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご健勝にて新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。旧年中は本会の運営と事業推進につきまして、格別のご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。本年も宜しくお願い致します。

さて、新型コロナウイルスは5類に移行し、社会・経済活動も回復の兆しが見えつつあります。その一方で、コロナ禍でさらに広がった孤立や格差、そして物価等の高騰によって困窮世帯が増加しています。また福祉、介護の現場では、長期にわたる人材不足が続く中、サービスの安定的な提供、地域福祉の推進を図るための努力、

福祉介護人材確保の努力をして行く必要性を感じます。

そんな中、コロナの影響で様々な行事を中止したり、縮小してありました社協事業も戻りつつあります。いきいきサロンも楽しく素敵な時間をもっと多くの方々と過ごせるよう期待します。各地域では、お祭りの復活やイベントの開催等々人々の生活にも期待があふれているように感じます。

海外を観ますと、ウクライナ侵攻は2年近くになり、まだまだ終戦の気配がありません。昨年10月には、ハマスとイスラエルが戦闘を開始し、多くの人々が犠牲になるといった悲惨な状態が続いています。人間の命とは、そんなに軽いとは思いません、戦いのない世界を切に望みます。

明るい出来事として、関西人として嬉しかったのはプロ野球オリックス対阪神の関西シリーズ。シ

リーズ終了後、大阪と神戸で両チームが優勝パレードを行い、テレビでしか拝見できませんでした。が、関西に大きな経済効果をもたらしたと感じております。

佐用町では、第9期介護保険事業計画を策定中であり、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、団塊の世代が75歳以上となる令和7年、さらに団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年以降を見据え、地域で支えあう、「地域共生社会」の実現が盛り込まれる予定です。

今後、高齢社会における、「公助」と「共助」による大幅なサービスの拡充は困難な状況で、自らの健康は自分で守る「自助」と、地域で支える「互助」を進めて行く必要があります。

本会では、行政や他の社会福祉法人、各地域づくり協議会、自治会等と連携しながら役職員一丸となって、地域福祉に取り組んで行きたいと思えます。

これからもなお一層お力添え賜りますようお願い致します。皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。

「お互いさま」の気持ちで助け合う有償の生活支援サービス まごころサービス協力会員募集！！

『まごころサービス』とは、「ちょっとした困りごと」を抱えている方に対して、住民の参加と協力により、お互いさまの気持ちで助け合う有償のお手伝い活動です。

このサービスにご協力いただける方を募集しています。町内にお住まいの18歳以上の方であれば、性別、経験、資格は問いません。

活動内容は？

庭の草取りや部屋の掃除、窓拭き、お墓掃除等です。

活動時間は？

活動可能な日・時間で調整します（年1～2回でもかまいません）。

活動費は？

1時間800円をお支払いします。



詳しくは、地域福祉課地域福祉推進係（☎78-0830）まで、お気軽にお問い合わせください。

地域共生社会の実現を目指して

佐用町地域福祉推進計画評価委員会を開催

8月21日に「佐用町地域福祉推進計画評価委員会」を開催し、その結果を9月の理事会、12月の評議員会で報告しました。

有識者等で構成されるこの委員会では、地域福祉の推進を目的とした第4次佐用町地域福祉推進計画の令和4年度における進捗状況の確認や評価を行いました。

第4次佐用町地域福祉推進計画とは、令和4年度から令和7年度の4年間の「みんなが協力して福祉のまちづくりを推進すること」を目的にした「活動・行動計画」です。また、誰もが住みよい『佐用町』をつくっていくために、地域で実際に活動をされている住民の皆さんと社協や福祉サービス事業所等が連携・協働するための行動の指針でもあります。

今回の評価結果を町民のみなさんや福祉施設の方々と共有し、次年度の本会事業計画にも反映していきます。



センターひまわりで行われた委員会



地域づくり協議会や自治会、ボランティアグループが実施しているふれあい喫茶は、地域の身近な集いの場であり気軽に社会参加できる場となっています



町内にある10の社会福祉法人で構成される「佐用町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット・佐用）」は、災害時に地域住民が避難してきた場合や福祉避難所の開設を指定されたときに備えた研修や訓練を行っています

委員会で明らかになった主な課題

- 地域での声かけや見守り活動は、新型コロナ禍以降も総体的に出来ている
- 住民活動の多様な場づくりが必要（社協職員が出向く機会を増やす）
- 情報提供・発信の工夫が必要（SNS等）
- 防災に関しては、別途検証する必要がある（個人の防災意識が高いせいか、自治会や行政等、組織的な対応への評価が低い）
- 福祉施設は、新型コロナと上手く付き合いながら、地域とのつながり構築が必要

詳細な計画内容と評価結果等につきましては、社協公式ホームページにアップしています。

同じに見えて実は違う介護用品 家族介護教室で学ぶ



4種類のパッドを使って吸収量の違いを実演

12月4日（月）、講師に㈱リブドゥコーポレーションの前川夏毅さんを迎えて、家族介護教室「知って得する介護用品～尿ケアパッドや大人用おむつの上手な使い方～」を開催しました。

まず、おむつ選びのポイントとして、サイズ選びが一番重要で、S～3Lまで7種類あり、大きすぎても小さすぎても尿漏れの原因になってしまうので、体に合った物を選ぶことが大事だそうです。次に、おむつの使用時のポイントとしては、袋から出した時には、一度広げてしわを伸ばすことにより吸収面積を増やすことや、中の尿漏れギャザーはしっかり立てて使用すること等の説明があり、このようなひと手間を加えることでフィット感も吸収力も違ってくる等の説明がありました。

「同じパッドに見えても、吸収量、肌触り等違うので、よく見て選ぶか、なんでもお店の人などに相談してください。メーカーによっても違ってきます」と話す前川さん。参加された皆さんは、「日頃使用しているが、知らないことばかりでとても勉強になりました」と話していました。

自分で考えて楽しく作る オレンジカフェでスワッグ作り



かわいいクリスマススワッグが出来上がりました

12月7日（木）、山口恵子さん（本郷）を講師に迎え、オレンジカフェ「クリスマススワッグ作り」を開催しました。

「スワッグ」とはドイツ語で壁飾りを意味する言葉で、クリスマスの伝統的な飾りのひとつ。ヨーロッパではリースと並び魔除けや幸運を呼ぶために玄関や室内に飾る習慣があるそうです。

最初に、山口さんから作り方の説明があり、スワッグ作りが始まりました。材料は、事前に山口さんが土台とキットを一人分ずつ準備したものを使用して、土台はコニファーを麻ひもで束ねたもので、金と銀に色付けされた松ぼっくりや、ドライフラワー、木の実、リボンなどを、みなさん可愛く仕上がるよう配置を考えながら土台上のどこに何を飾るかを楽しそうに決めていました。配置が決まるとグルーガンで固定していき、とても可愛く華やかなクリスマススワッグが完成しました。

参加されたみなさんは、お互いの作ったスワッグを見せ合いながら、「可愛くできたね」と楽しそうに話が弾んでいました。



価値観の違いをみる心理テストで自分を知る

11月30日（木）、講師にmottoひょうご事務局長の栗木剛さんを招き、地域活動入門講座を開催しました。

既に地域で活躍中の方の参加が多い中、全国の地域活動情勢に触れつつ、若い人へのアプローチ方法や次世代の育て方等についてユーモアいっぱいに話されました。

「支える力が少なくても、『もたれあい』で、お互いできる範囲で支え合う。このメンバー、この世代でもたれあい、無理せず楽しくやってもらえたら」と栗木さん。参加された方は「重く考えずもう少し気軽に考えて行動していきたい」と活動を見直すきっかけとなり、楽しい学びの場となりました。

**無理せず楽しくもたれあい
地域活動入門講座を開催**

受賞おめでとうございます



センターひまわりで賞状の代理授与を行いました



ひょうご県民ボランティア活動賞

佐用町ボランティアセンター登録団体のボランティアグループ「そよかぜ」がひょうご県民ボランティア活動賞（県知事表彰）を受賞されました。

「そよかぜ」は花の寄附など福祉施設への支援活動や花壇の整備による環境美化活動等で活躍されています。

代表の山内みき糸さん（写真前列中央）は「少人数ですが、お互い気安く無理のない活動を続けていけたら」と話されました。

無料弁護士相談

日 時：令和6年1月18日（木）
13:00～15:00
場 所：三日月福祉拠点施設
内 容：弁護士による総合相談
（※本会契約弁護士が相談に応じます）
対 象：生活で困り事のある方、弁護士への相談を希望する方等
定 員：6名（1人20分まで）
※町内在住者を優先します
参 加 費：無料



家族介護教室

日 時：令和6年2月7日（水）
13:30～15:00
場 所：南光地域福祉センター
内 容：補聴器について～補聴器で認知症予防～
講 師：トーシン・神戸補聴器センター
高永 善弘さん
対 象 者：介護している方、介護に関心のある方
定 員：15名
参 加 費：無料
申込〆切：令和6年2月1日（木）
◆ 送迎が必要な方は申し込み時にお伝えください



地域社会に貢献していくために

ほっとかへんネット・佐用

ほっとかへんネット・佐用は、町内で福祉事業を運営している社会福祉法人、10法人で組織しています。各法人では総合相談窓口を設置しており、このたび法人間の連携を深めるとともに、相談援助のスキルアップを図るため福祉総合相談研修会を開催しました。

ほっとかへんネット・佐用では、ゴミ屋敷やひきこもりなど制度の挟間にある問題や、一機関では解決できない複合多問題へ対応するなど、地域社会に貢献していくために各法人の専門性を活かしながら取り組みを展開していきます。

今後の予定

〇公開セミナーの開催（予告）

令和6年2月24日（土）

生活困窮者支援とフードドライブに関する講演会で、どなたでもご参加いただけます。

詳細につきましては、社協だより2月号にてお知らせします。



ほっとか騎士（ほっとかナイト）



ふれあいカレンダー（1月）

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1/1 元日	2	3	4 社協仕事始め	5 給食サービス	6
7	8 成人の日	9 給食サービス	10 喫茶であい 三日月地域交流センター 10:00～	11 生きがいデイ 三日月福祉拠点施設 9:30～	12 給食サービス	13 さよう子ども食堂 「Full House」 さよう子育て支援センター 11:30～
14	15	16 給食サービス	17	18 生きがいデイ 三日月福祉拠点施設 9:30～ ひまわり (親子リトミック) 南光地域福祉センター 10:00～ 無料弁護士相談 三日月福祉拠点施設 13:00～	19 給食サービス	20 ふれあい喫茶 「とも」 川原町公民館 9:00～ ふれあい喫茶 「あえる」 南光文化センター 9:00～
21	22 ふれあいの里 交流会 (東本郷、田此、 広山、弦谷) 三日月福祉拠点施設 10:00～	23 給食サービス 生きがいデイ 三日月福祉拠点施設 9:30～	24 喫茶であい 三日月地域交流センター 10:00～	25	26 給食サービス ひだまり (自由遊び) 三日月福祉拠点施設 10:00～	27
28	29	30 給食サービス	31	2/1 ひまわり (節分) 南光地域福祉センター 10:00～	2 給食サービス	3
4	5	6 給食サービス	7 家族介護教室 (補聴器について ～補聴器で認知症 予防～) 南光地域福祉センター 13:30～	8	9 給食サービス ひだまり (親子リトミック) 三日月福祉拠点施設 10:00～	10

年始の業務について



本会の全事業は、**1月4日（木）**から開始します。
何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



町民ペンリレー (No.217)

みえだ とくひこ 三枝 時彦 さん (61歳) (佐用町本位田)

質問：自己紹介をしてください。

答え：令和2年にサラリーマンを卒業し、農業の会社「株式会社さよひめ営農」を起業し、水稻、野菜を中心に栽培、販売を実施しています。

質問：趣味・特技はなんですか？

答え：全然成長しないゴルフ（なかなかゴルフに行く時間がとれない・・・言い訳です）。

質問：日頃から心がけていることはありますか？

答え：お客さまに喜んでいただける作物を栽培すること。新鮮な野菜と、さよひめ営農メンバーの皆さん（一番左が三枝さん）
そのために出来ることは可能な限り何でもチャレンジすること。

質問：毎日続けていることはありますか？

答え：体調管理（朝、夜の体重、血圧測定）・・・健康でなければ仕事もできませんからね！

質問：最近嬉しかったことはありますか？

答え：お客さまから“お米美味しかったよ”とのメッセージを頂いたこと。

質問：夢や目標はなんですか？

答え：スマート農業の展開と先人（諸先輩）の知恵及び気象データ等に基づく最適な栽培方法の確立。
また、栽培したお米や野菜をより多くの人に食べていただき、佐用農作物のファンを増やすこと。

前回の町民ペンリレー THAPA MAGR HIMAL さんからのメッセージ

「アルバイトがない時に色々お世話になりありがとうございます。これからもよろしくお願いします！」



まちの子育てひろば通信

「クリスマス会」



好きなおもちゃといっしょに
メリークリスマス♪

子育てひろば「ひだまり」では、クリスマス会を開催し、3組の親子の参加がありました。

最初に、ボールプールやトランポリン、滑り台、ショベルカーなど、好きなおもちゃで遊びました。それから、クリスマス用のブーツをおかあさんといっしょに作りました。赤いブーツの形をした台紙に、ベルやツリーの飾り、星のシールを貼り、マジックで模様を描いて可愛いブーツが完成しました。最後には、おもちゃとお菓子のプレゼントがあり、子どもたちは大喜びでした。

1月の子育てひろばは、「ひまわり」で親子リトミック、「ひだまり」で自由遊びをします。みなさまの参加をお待ちしています。

☆町内の子育てひろば☆ (原則、10時～12時の開放です)

♪ひまわり 木曜日 南光地域福祉センター

佐用町東徳久1946番地 TEL: 78-0830

♪ひだまり 金曜日 三日月福祉拠点施設

佐用町下本郷647番地1 TEL: 79-2994

日程は社協だよりか、子育てひろば情報誌で確認してください♪



この広報紙は共同募金配分金の一部で作られています。

